

# 慈眼

## 第28号

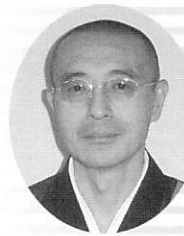
発行所  
佐賀市西田代1丁目4-6 本行寺内  
TEL 0952-24-1813  
FAX 0952-24-1813

日蓮宗佐賀  
教化センター

発行責任者  
松野 邦 俊

### 伝道担当事務長

#### 就任挨拶



唐津市 法蓮寺住職  
藤山 英周

この度、小寺大誠宗務所長の下、伝道担当事務長を拝命致しました唐津市法蓮寺住職・藤山英周と申します。前職の教化センター長在任中は皆様に大変お世話になり、「慈眼」を通してお題目の有り難さを檀信徒の皆様へ少しはお伝えするお手伝いが出来たことと存じます。

さて、伝道担当事務長に就任致しました本年度より、宗門運動「立正安国・お題目血縁運動」実働の年となりました。本年より平成三十三年の宗祖ご降誕八百年の嘉辰年を迎えるまでの十四年間の息の長い宗門運動の始まりです。

宗祖日蓮大聖人が「立正安国論」をお書きになられたのは、今の世の

中のように地震・異常気象による天変地異の続発・環境破壊による地球の異常等、これらは私たち人間が正しい信仰を持つて無いからだと感じられたからに他なりません。お釈迦様の教え、ことに「法華経」は私達と自然界の融和を説かれています、今こそ日蓮大聖人が述べられた正しい法が世の中に広まる時、正しい世界が確立されるのです。

この「お題目血縁運動」とは、法華経の第二十番目の常不軽菩薩品に説かれている不軽菩薩が実践された「但行礼拝」(我深く汝等を敬う。敢えて軽慢せず。所以は何ん、汝等皆菩薩の道を行じて当に作仏することを得べし)を私達の常日頃の行いとして、どんな相手も許容して拝みお題目の輪を世界に広げる「行」です。先ずその始まりとして大聖人の御廟に額づきて私たちの決意を申し上げるべく祖山に登詣し、立正安国の世の中を指してお題目を広めたものです。

伝道担当事務長として皆様のご信仰の手助けが出来れば幸いです。ま

た、ご一緒のお題目の有り難さを伝えて参りたいと存じます。 合掌

### 宗務担当事務長

#### 就任挨拶



三日月町 大妙寺住職  
田中 康教

本年度より佐賀県宗務所・宗務担当事務長の重責を拝命いたしました三日月町大妙寺住職・田中康教でございます。浅学菲才の身ではありませんが小寺大誠宗務所長の下、宗門の益々の興隆と県宗務の円滑な運営に向け努力してまいる所存でございます。今後とも県内各役職お上人並びに県内各寺院お上人各位のご指導ご鞭撻をいただき又、檀信徒皆様のご協力をお願い申し上げます。

皆様すでにご承知のとおり、本年度より「立正安国・お題目結縁運動」実働の年が始まり、平成二十一年には「立正安国論」奏進七百五十年、平成三十三年には宗祖降誕八百年の聖辰を迎えます。これからの十四年間は法華経にお説かれた「命の絶対尊重」を基本理念として「立正安国の実現」を眼目とする「信仰運

動」として宗門内外へ運動が展開されていきます。

特に最初の四年間は管区(県)宗務所においても地域性や特色を最大限に生かした運動を立案していく事が求められ、今後本管区においても教師・檀信徒はもちろん一般の人々をも含めて運動を担う「人」と「組織」の向上を図るための方策が僧俗一体となつて行われていく事と存じます。

日蓮大聖人は「立正安国論」において「汝早く信仰の寸心を改めて、速やかに実乗の一善に帰せよ然れば則ち三界は皆仏国なり。仏国其れ衰へんや。十方は悉く宝土なり宝土何ぞ壞れんや。国に衰微なく、土に破壊なくんば、身は是れ安全にして、心は是れ禪定ならん。」と信仰の目的と方法を私たちにお示しになっておられます。今回与えられた宗務の仕事は微力ではありますが私くし自身の祖願に報いる「運動」の実働の第一歩であり、お題目結縁のための「但行礼拝」実践の場と思っております。

檀信徒の皆様もそれぞれの立場と生活の中で「立正安国」実現に向け信仰の増進と社会教化をめざし日々精進しお題目を唱えてまいりましょう。 合掌

【特集】

《鍋冠日親上人》

松尾山光勝寺中興の祖・久遠成院日親上人にゆかりのある佐賀県寺院をいくつか御紹介します。

日親上人が「九州の導師」として佐賀におられた期間は実はそう長くはありません。諸説ありますが、長くとも十年ほどです。

しかし、その期間に日親上人が開かれた寺院や、布教や法難の場所が後に寺院となった場所が、県内にはたくさんあります。



親成寺

【休息山 親成寺】（小城市小城町）

日親上人が松尾山光勝寺の住職として下向された際、この地にあった妙見社で、

二十一日間のご祈願の後に入山されたので、山号を「休息山」と号されました。以来、名僧や高僧は、親成寺に立ち寄られ、衣の着替えなどをされてから光勝寺に向かわれるようになったそうです。

【長池山 妙勝寺】（三日月町三ヶ島）

日親上人が三ヶ島の里で百日間説法をされ、その最後の日に説法された場所より東に五〇〇メートル程の場所が光り輝いていたので、村人が掘ってみると、お釈迦様の仏像が出現しました。この仏像をお祀りするお堂が、妙勝寺の始まりです。

【増長山 常円寺】（三日月町長神田）

日親上人のお題目布教を不快に感じた禅林寺の僧が、庄屋の犬山家と謀り、日親上人を井戸に放り込んで石を投げ入れました。しかし、犬山家の一人息子が身代わりとなっていたので、犬山氏は懺悔し、息子の蘇生を頼みました。日親上人の祈禱により一命を取り留めたので、犬山氏は日親上人に帰依し、禅林寺の僧も「日如」と改名し、寺号も「常円寺」と改称されました。

【宝塔山 親正寺】（佐賀市大和町）

日親上人が岸壁に御題目を彫られていましたが、「南無妙法蓮」の「蓮」の途中まで彫られたところで佐賀を離れる事となられてしまいました。

後年、朝鮮出兵の為に名護屋城へ向かわれる加藤清正公がこの峠を通られる時に、乗馬が膝をつき動かなくなってしまうので、馬を下りてみると岸壁に書きかけの御題目を見つけられました。そのままにはしておけないと、槍先で残りの文字「華」と「経」を書き足されたこと伝えられています。この宝塔を「書きかけの御題目」や、「膝折坂の宝塔山」と呼ぶようになったそうです。

書きかけの御題目 親正寺



ご紹介出来ませんでした。此の他にも幾つもの言い伝え等があります。それらはいずれも日親上人の御題目信仰や布教に対する厳しさを顕したものであると言えます。

佐賀の老舗 信用本位 技術本位

辻の堂の仏だんや

(株)本庄仏具総本店

佐賀市堀川町(辻の堂) ● TEL 0952・23-2955(代)

花と葬儀

木下株式会社 平安閣冠婚葬祭互助会



草苑 (SOU-EN)

北佐賀草苑 佐賀市兵庫町藤ノ木115 (0952) 30-4040 FAX・30-4043  
南佐賀草苑本店 佐賀市本庄町大字本庄951 (0952) 25-1255 FAX・25-1088

日蓮は幼若ようじゃくの者なれども  
 法華経を弘むれば 釋迦佛おんつかいの御使ごつかいぞかし  
 『種種御振舞御書』

例えば、あの大きな戦争を体験されて  
 誰もが二十歳まで生きたことに、まず  
 感謝が出来た昭和二十年代から三十年代  
 にかけての成人式は、どんなにか思い出  
 に残る素晴らしいものであつたらうと、  
 不思議なことにテレビで沖繩の荒れた成  
 人式を見ながら、そう思った。愚連隊さ  
 ながらの男の子達はもとより、恐らく親  
 から買ってもらつたのであろう、振袖を  
 台無しにしながら騒ぐ女の子達の悲しい  
 姿を見てどうかこれからの長い人生を通  
 して、二十歳のときに自分がした振舞い  
 を恥じ入る時が来てくれる事を、親の一  
 人として祈る思いである。

私達が、限られた人生を通して学ぶも  
 のは、「人の振舞」真の大人の条件とは、  
 自分自身が「未熟」であることをしっか  
 りとわきまえ、その「未熟」を生きなが  
 ら自身の魂を成長させ、それぞれの立場  
 で社会に貢献していくことを誓うこと  
 ある。

この誓いは求めて得ざる願ひ故に、私  
 達は誰もが皆、見事な程に人生を苦しん  
 ではいるけれど、だからこそ人間を生き

ている実感をも、私達はこんなにもかみし  
 めることが出来るのです。人は今、まさ  
 に「発展途上」を生きている。  
 「たとえ一人の人であつたとしても、た  
 とえ一文一句であつたとしても、法華経  
 を説く者は、釋尊の使いである。」  
 (法華経法師品)

この法華経のみ教えをそのままに、日  
 蓮大聖人は、たとえ幼若ようじゃく未熟の我が身  
 であつても人にはやらねばならないこと  
 がある。釋尊の使いとして、今を生きる  
 私達の行いが、そのまま法華経を弘める  
 ことになる事をお示し下されたのです。

人は誰も、「求めて得ざる苦しみ」を  
 背負つて生きる、生身の佛しょうじん。誰かの為に  
 尽くしたいと願う心は、そんな発展途上  
 の佛が見せる、人としてのいちばん美し  
 い魂の表現方法、お釋迦様の使いである  
 ことの証あかしなのであります。祈つて(願  
 い)悟つて(気付き)行つて(弘める)  
 人の為、我が身の為に日々精進して参り  
 ましょう。

小城・三日月地区 檀信徒研修道場「護法の集い」

つなげよう！ お題目のタスキ

◆日時:平成19年10月14日(日) 午後2時~4時30分 ◆会場:松尾山光勝寺

◆主催:日蓮宗佐賀県宗務所 ◆共催:日蓮宗 小城・三日月地区寺院

※詳細は菩提寺様へお尋ね下さい



手を合わせるころを大切に・・・

**山本仏具**

佐賀市呉服元町 10-12 23-4308  
 〒840-0824 ☎ (0952)

- ・寺院用具一式
- ・前卓
- ・鑄金物
- ・宮殿機具
- ・登高座
- ・修復
- ・須弥壇
- ・桂
- ・仏壇
- ・人天蓋
- ・美術彫刻品
- ・仏
- ・幢幡
- ・宗教絵画
- ・神殿用具
- ・瑠璃
- ・塗物
- ・其の他
- ・仏像彫刻
- ・箔

平成19年度・創業84年目、仏壇・仏具  
 ・墓石の総合プラザ

**光 古賀仏壇店**

3代目 代表取締役社長 古賀宏昭

本社 〒840-0813 TEL(0952)23-5521  
 佐賀市唐人町1丁目2-25 FAX(0952)23-5564



### 宗務所新役員紹介

#### 【宗務所長】

嬉野市学成院住職 小寺 大誠

#### 【宗務所顧問】

小城市光旭寺院首 田中 日学

#### 【宗会議員】

松尾山光勝寺貫首 平井 照山

#### 【伝道担当事務長】

唐津市法蓮寺住職 藤山 英周

#### 【宗務担当事務長】

小城市大妙寺住職 田中 康教

#### 【布教師会会長】

佐賀市國相寺住職 松島 正英

#### 【修法師会会長】

佐賀市本経寺住職 初井 恵親

#### 【社会教化事業協会会長】

小城市妙藏寺住職 藤尾 成能

#### 【声明師会会長】

佐賀市正福寺住職 藤本 宣文

#### 【教化センター長】

佐賀市本行寺住職 松野 邦俊

#### 【協議員】

小城市妙長寺住職 加藤 智顕  
 佐賀市妙玉寺住職 石井 智俊  
 小城市教仙寺住職 亀川 学俊  
 小城市勝嚴寺住職 大野 義敬  
 小城市光旭寺住職 田中 英康  
 大町町日國寺住職 本村 孝弘  
 嬉野市本覚寺住職 藤井 智順  
 多久市宝蔵寺住職 藤木 弁昇  
 多久市妙海寺住職 宮本 智昭

#### 【日蓮宗新聞支局長】

鹿島市本長寺内 辻 雅英

#### 【会計】

多久市本覚寺住職 吉永 正法

#### 【書記】

多久市等覚寺内 小寺 成文

小城市妙嚴寺内 友永 正宏

#### 【参事】

小城市門教寺住職 塚本 観聖

久保田町龍光寺住職 森永 憲章

多久市本覚寺住職 吉永 正法

大町町日國寺内 本村 仁孝

佐賀市賀昌院内 末永 孝司

佐賀市妙誓寺内 古賀 敬紹

小城市妙嚴寺内 友永 正宏

唐津市昌善寺内 鶴 孝仁

佐賀市親正寺住職 宝蔵寺学親

#### 【青年会会長】

佐賀市泰教寺内 平井 智嚴

#### 【宗務相談室長】

大町町日國寺住職 本村 孝弘

#### 【寺庭婦人会長】

小城市親成寺 古賀 敏子

#### 【檀信徒協議会会長】

佐賀市泰教寺総代 森永 新二

### 役職略説

【宗務所長】管区を代表し、地方宗務及び地方活動を統括します。

【伝道担当事務長】布教活動の企画実施を担当します。

【宗務担当事務長】宗務所一般事務を担当します。

当します。

【布教師会】「立正安国お題目結縁」の宗門テーマのもと御会式・お彼岸等で言説布教を行い、布教師並に檀信徒の研修会を開催します。

【修法師会】修法師の修法力向上のための研修会を行ったり、本山松尾山光勝寺の大祭・大荒行成満帰山式などに出仕しております。

【社会教化事業協会】社会の平和と福祉に寄与し、社会浄化に貢献する会です。内容は施設訪問・歳末助け合い募金・家庭児童相談につき寺庭婦人会と研修会を開催。

【声明師会】教師（お上人）に対して日蓮宗で定められた法式・声明を正しく伝え、檀信徒には法華和讃の唱え方や作法の指導を行う皆様に一番身近な組織です。

【教化センター】教箋「慈眼」において、檀信徒の皆様に法華経やご遺文の解説と様々な宗門行事の案内・報告をします。また、宗務所のホームページの運営を担当しています。

【協議員】管内の布教及び事業その他重要宗務を協議します。

【新聞支局】宗務所の広報活動及び日蓮宗新聞の取材にあたります。

【参事】宗務所の運営にあたります。

【青年会】会員相互の研修を行い青年層としての資質を高めると共に、唱題行脚や寺院団体参拝などを通じて布教活動を行います。

仏壇・仏具・寺院用具・寺院納骨堂設計施工  
 拝む心で尊い品を

## 梅谷佛具店

TEL 092-271-0456



本店 〒812 福岡市博多区下川端町10-9  
 -0027 (地下鉄中洲川端駅下車)  
 7番出入口・博多座裏  
 支店 〒819 福岡市西区周船寺3-9-4  
 -0373

0120-39-0456

TEL 092-806-7499

総合葬祭 有限会社 城 黄 光  
 葬祭会館 こう 雲 閣

小城市三日月町大字久米2134-1  
 代表 (0952)-73-3938  
 TEL (0952)-73-2020